



防災安全協会とともに 私たちの住む地球のために そして地域全体のために



参議院議員、元環境大臣

丸川 珠代

一般社団法人
防災安全協会特任顧問

防災・SDGsパートナーシップに 期待を込めて

2015年9月にSDGs（持続可能な開発目標）が、国連総会で採択され、その翌月に第3次安倍第1次改造内閣で環境大臣の拜命を受け、さまざまな環境問題と取り組んでおりました。そこで、SDGsとの関わりは大変深く、そのゴールである17の目標について、環境をはじめ危機管理、防災等の問題解決に向けた提言をして参りました。

私の公約の一つである「災害やテロに負けない、強い都市」についても、SDGsの目標9の【産業と技術革新の基盤をつくろう】の強靱なインフラを構築し、防災を高める科学技術や情報通信のイノベーションを推し進めていくことが重要です。そして、目標11の【住み続けるまちづくりを】では安全なレジリエンスの機能性を高め、防災力を発揮しSDGsに貢献できるものとの思いを込めて、協会のSDGsパートナーシップに期待しております。

令和4年12月



全国市長会会長
福島県相馬市長

立谷 秀清

SDGsと防災について

相馬市は11年前の東日本大震災によって沿岸部は壊滅的な被害を受け、多くの尊い命が犠牲となりました。被災直後から、一般社団法人 防災安全協会様をはじめ、国内外からのあたたかいご支援をいただきながら、市民一丸となって復興の歩みを進めてまいりました。

復興を遂げようとした矢先、令和元年東日本台風では市内河川の氾濫による断水や浸水被害に見舞われ、さらに昨年2月と今年3月には福島県沖を震源とする大地震が発生、最大震度6強の強い揺れによって家屋や道路、水道管などの生活インフラに大きな被害を受け、市民生活に大変な苦勞を余儀なくされています。

近年、自然災害の大型化、広域化により被害が激甚化しています。地域として災害に対するレジリエンスを高め、いかに被害を減らすかの強靱化を進めるとともに、被災地域に対し協力して支援することも大切です。持続可能な地域の実現のため、防災力の強化に取り組むSDGs 防災パートナーシップに期待しております。

令和4年12月



一般社団法人 防災安全協会
理事長

斎藤 実

サステナブルな社会に向けて

我が国は、世界でも有数な自然災害発生国であり、地球環境の悪化が原因で発生している災害も少なくありません。とりわけ、企業は気候変動による影響を深刻に捉えて積極的に対策を講じなければなりません。

このコロナ渦で社会の価値観が大きく変わった今、今後の企業の成長に欠かすことのできないキーワードはサステナビリティ（持続可能な社会）です。

「環境・社会・統制」の3つの観点から持続可能な状態を実現する企業経営が求められ、市場競争を優位に保つことが可能になります。

また、短期的な利益を追求する企業は淘汰されていくでしょう。

脱炭素、太陽光エネルギー、リサイクル、ESG投資等をキーワードにした技術革新や新しいサービスの創出は新たな挑戦として、課題解決の道標となり将来のSDGsに繋がって行きます。

防災安全協会は環境×防災をテーマに企業と共にサステナブルな社会に向けてパートナーシップの輪を広げ、共創を推進し地球の環境改善と災害対策に取り組んでまいります。

令和4年12月